



2020年度営業関係施策（その2）

渋谷駅に関する団体交渉を行う！

新生JR東労組東京地本は、施策に真剣に向き合い

組合員が安全で働きやすい職場環境をつくりだしていきます！

1. 実施個所 渋谷駅
2. 実施内容 玉川改札廃止に伴う出改札体制の見直し
現在:営業 122名 → 変更:営業 113名

主な交渉内容

【組合】周知はどのように行うのか。

【会社】改良工事に伴い施工サイドと擦り合わせをして、ポスターだとか、放送や案内を行っている。

【組合】廃止によって今まで利用していた人たちのルートはどうなるのか。

【組合】乗り換えの多い改札なので、各社と協力して新しい流動を案内していきたい。また、玉川改札から他の改札に向かうルートは様々あるので、これも各社と調整を行い周知していく。

【組合】玉川改札の廃止は、東急西館の解体にともなうことでの廃止ということか。

【会社】おっしゃるとおりである

【組合】地上で傘をささないで行くルートは暫定的でも確保するのか。

【会社】その通りである。

【組合】改札を出て地下に行く階段も閉鎖になるのか。

【会社】閉鎖になるが、お客さまの流動が滞ることから、下に向かう通路は確保する。

【組合】廃止に伴いホームにお客さまが滞留しないのか。

【会社】大きな波動時期の案内体制は、駅総体、部外の活用、テンポラリースタッフや支社からの応援などで対応していく。

【組合】廃止に伴う作業ダイヤはどうなるのか。

【会社】駅総体で出改札の作業ダイヤを見直していくこととなる。

【組合】玉川改札の遺失物取扱所はどうなるのか。

【会社】ハチ公改札のラッチ外に新しい遺失物取扱所を設置する。